

理論問題研究会

代表 小竹秀典
〒340-0834 埼玉県八潮市大曾根293
東京第一合成株式会社内
TEL 090-6172-3177
FAX 048-997-1228

主として「法則とは何か」について考える。
その考えのもとに新しい法則を発見する。
それについて意見交換する。

ネット上で意見交換する。
会社経営、企業診断に関することは研究成果を中小企業診断協会の会誌に発表する。
科学技術に関することは、専門家の意見を聞く。実証する。ノウハウの類は実用性を議論する。
成果は学会発表する。

ひとつの提案 2004年10月1日 小竹秀典

1. 考えたことの結果はすべて、自分にとっては法則である。
それは自分独自ものとは限らない。他人の考えたことの結果、再認識も含まれる。
2. 考えることは言葉によって行われ、言葉によって記録される。
3. 法則の発見は言葉を完成させる作業である。新しい法則は新しい言葉を定義する。
4. 法則の発見は五感の体験によって行われる。感覚と感性を磨くことが重要である。
5. 法則は性質の部分集合である。
6. 法則には「ものさし」がある。それは類似現象の代表であり、モデルである。

追加提案 2005年7月16日

7. ものごとを表現、記録するところから理論が始まる。
数字による表現によって理解が深まる。
新しい演算と新しい数で表現すれば新しい理論(解釈)が生まれる。
それは新しいモデルを考えることで可能になる。

追加提案 2005年10月1日

8. すべての法則は仮説である。ただし公理体系の無矛盾性と現実での実証が必要である。
9. コミュニケーションの基本は論理である。論理があるから意思疎通ができる。
10. 学問は予測を可能にし、行動に確信を与える。

ブログ

<http://riron-kenkyu-1.blogspot.com>